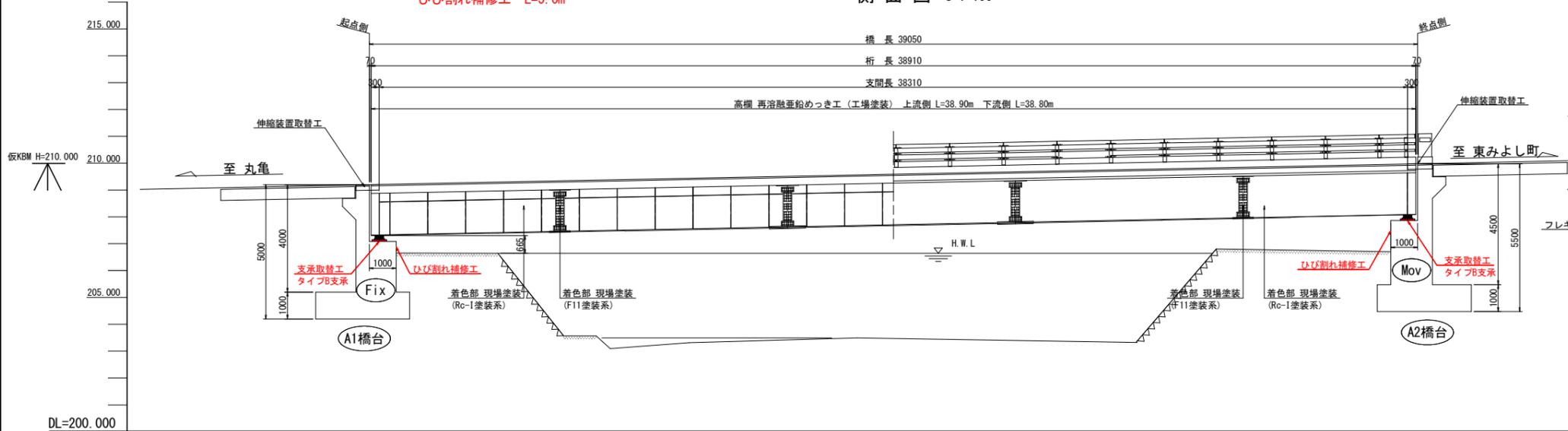


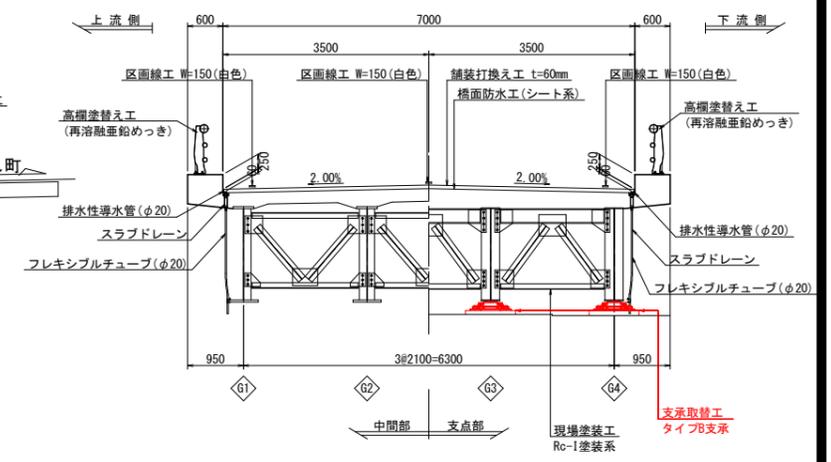
小見橋 補修計画一般図

支承取替 N=8基
ひび割れ補修工 L=5.0m

側面図 S=1:100



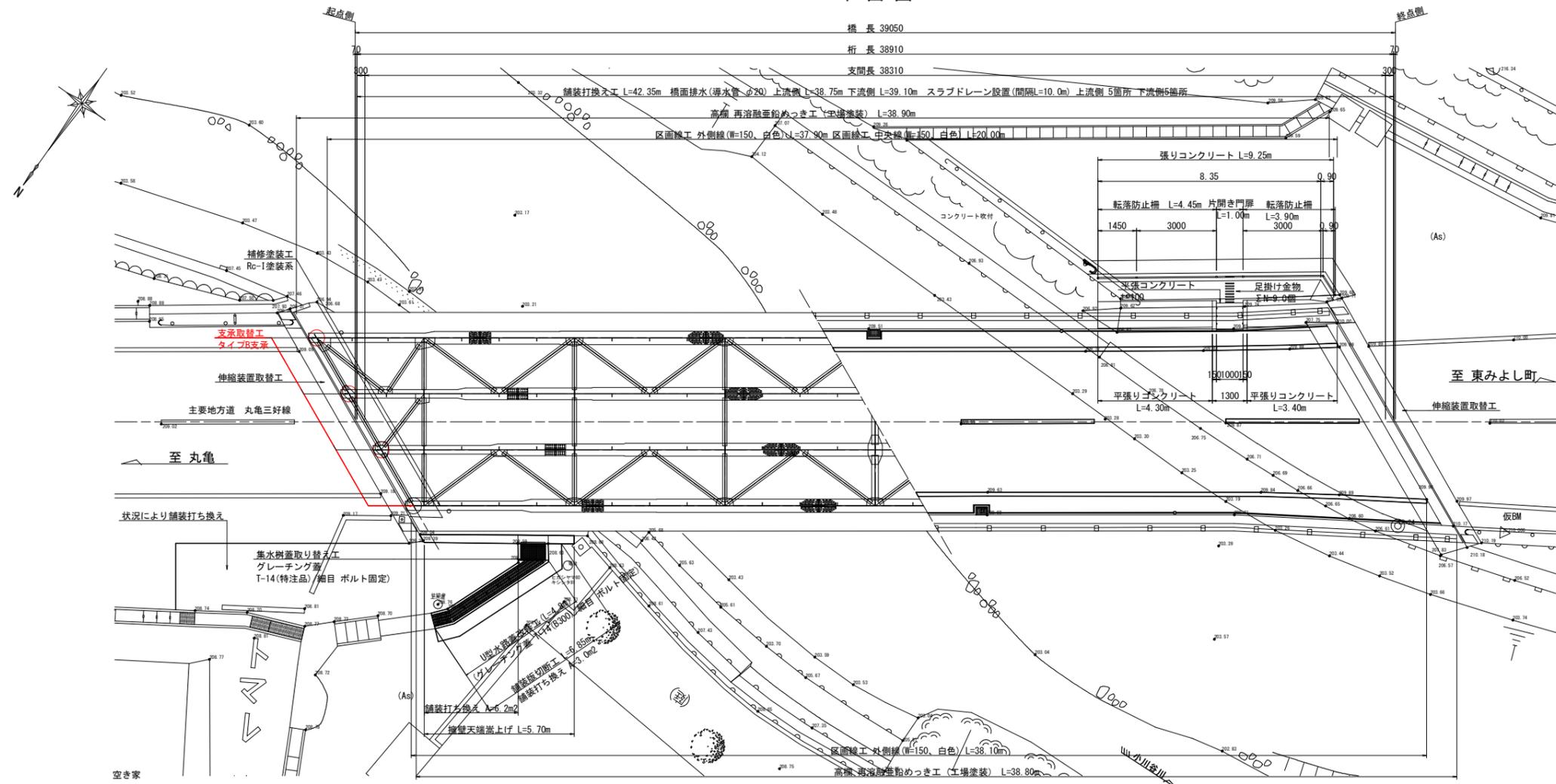
断面図 S=1:60



現況高	209.20	209.88
測点	A1橋台	A2橋台

1=2.00%
L=39.050m

平面図 S=1:100

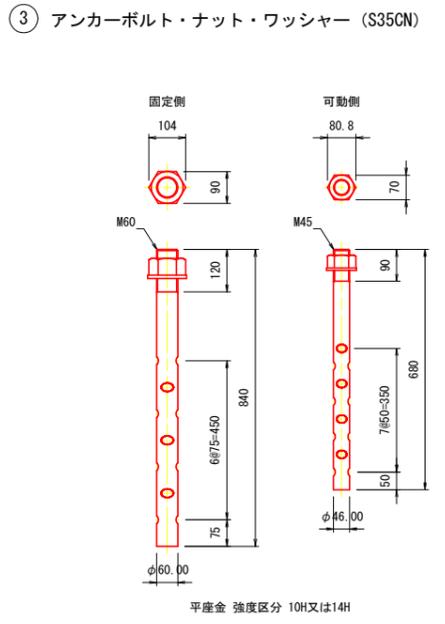
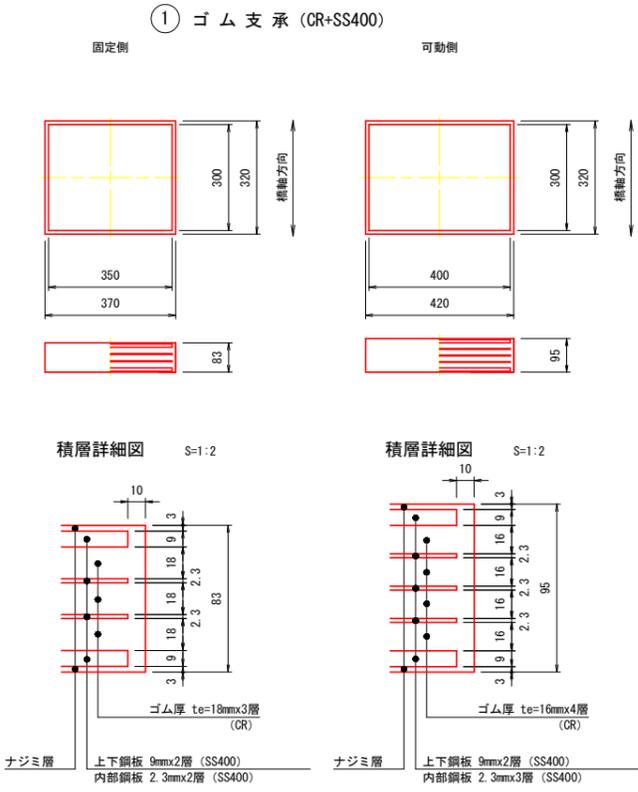
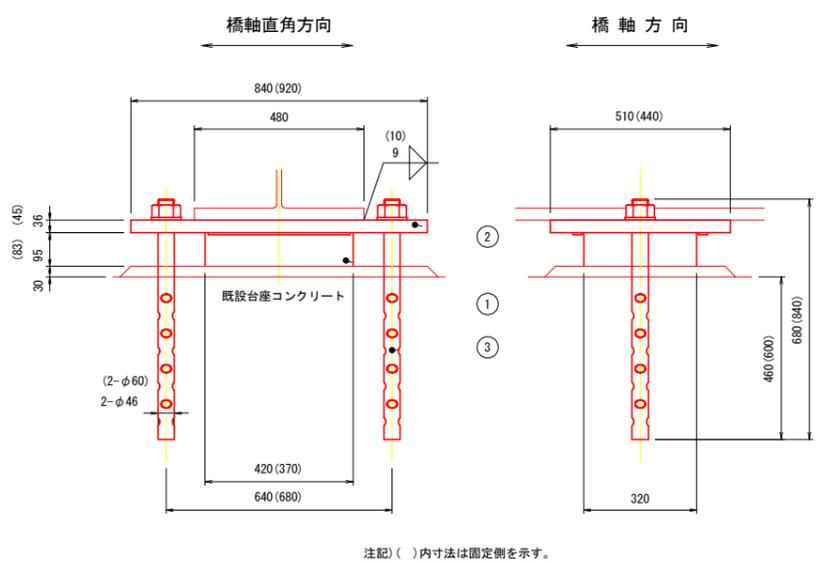


路線名	主要地方道 丸亀三好線
橋格	1等橋 (TL-20)
橋長	39.050 m (於道路中心線上)
桁長	38.910 m
支間長	38.310 m
幅員	全幅員 8.200m (0.600+3.500+3.500+0.600)
斜角	60° 00' 00"
上部工	活荷重合成耐震性鋼単純板桁橋 (4主桁)
下部工	逆T式橋台 (直接基礎)
架設年次	1987年3月 (昭和62年) 供用後28年
適用方書	昭和55年道路橋示方書

注記) 供用年数は、2015年現在の供用年数を示す。

工事名	R2三土 丸亀三好線 (小見橋) 東・東山 橋梁修繕工事		
路線名等	主要地方道 丸亀三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町東山 (小見橋)		
図面名	小見橋 補修計画一般図		
縮尺	S=1:100	図面番号	1 / 5
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 (三好庁舎)		

小見橋 支承詳細図(参考図) S=1:10



設計条件

支承条件		Fix		Mov	
最大反力	Rmax	670 KN	670 KN		
最大反力 回転照査用	Rmax2	570 KN	570 KN		
最大死荷重反力	R _D	470 KN	470 KN		
最大活荷重反力	R _{L-1}	300 KN	300 KN		
照査荷重時変位量 (RL+I/2)	δ _{cl}	0.71 mm	0.53 mm		
回転変位量	δ _r	1.45 mm	1.53 mm		
水平変位量	常時	橋軸方向	ΔL1	0.0 mm	23.0 mm
地震時	変位量	橋軸方向	ΔLe1	— mm	— mm
		橋軸直角方向	ΔLe2	— mm	— mm

材料表 (1支承当り)

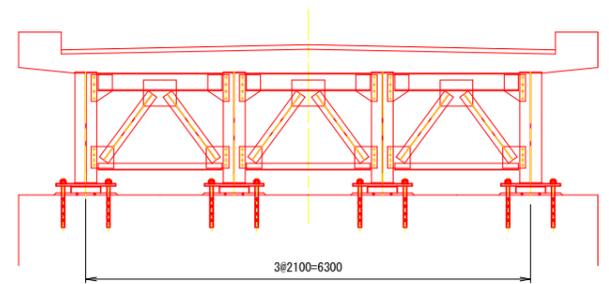
名称	材質	個数	数量 (kg)		備考
			Fix	Mov	
① ゴム支承	GR+SS400	1	29.9	38.3	Ge=0.8N/mm ² 滑動防止装置付
② ソールプレート	SM490A+SS400	1	131.0	109.6	
③ アンカーボルト・ナット	S35CN	2	43.9	20.8	ナット・ワッシャー含む
全質量 (kg)			204.8	168.7	

注記) 1. 質量は参考質量とする。

仕様

ゴム種	弾性係数 Ge	破断伸率 γ _u	一次形状係数 S1	二次形状係数		縦弾性係数 (剛性用)		支承剛性		鉛直剛性許容値
				橋軸方向 S2	直角方向 S2	E	E (局部用)	水平 KS	鉛直 KV	
C R	0.80	450	4.49	5.56	6.48	108.4	108.4	1.56	211	∞

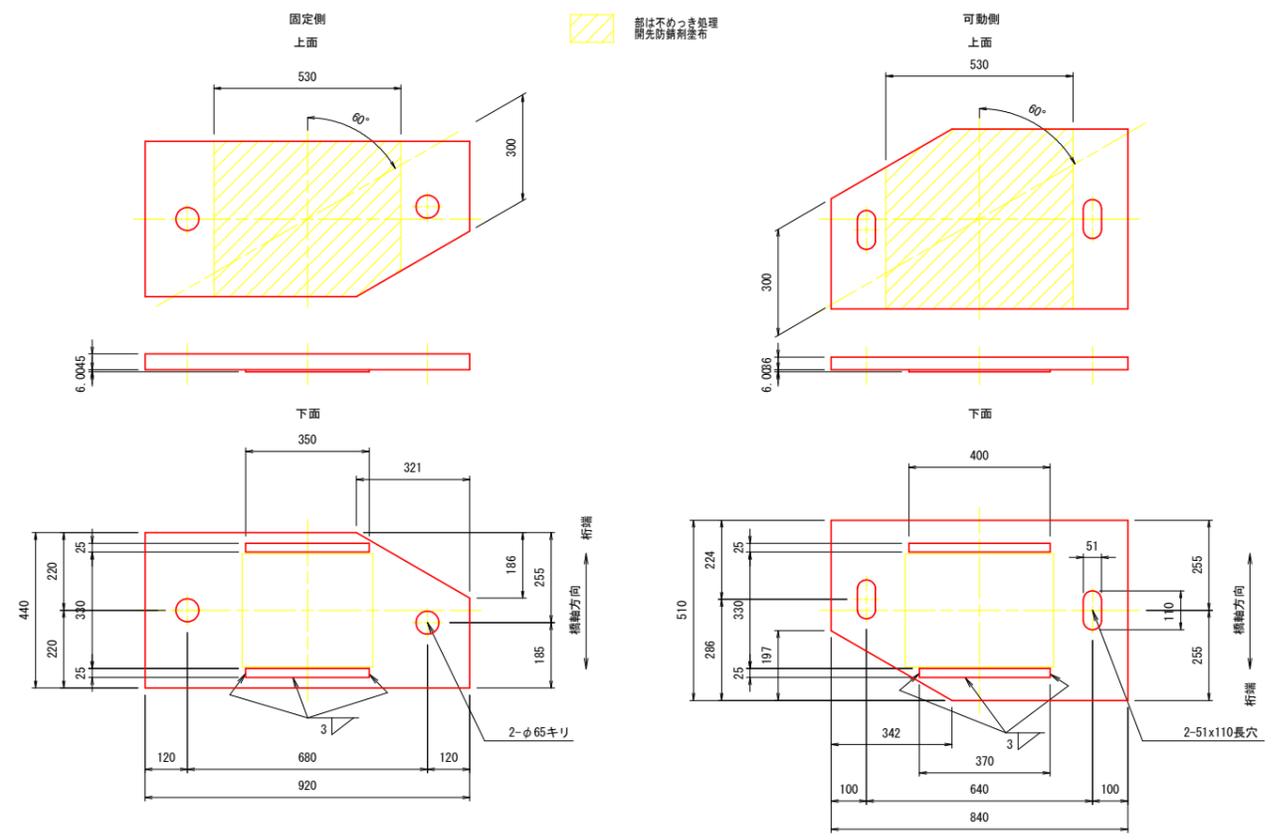
断面図 S=1:50



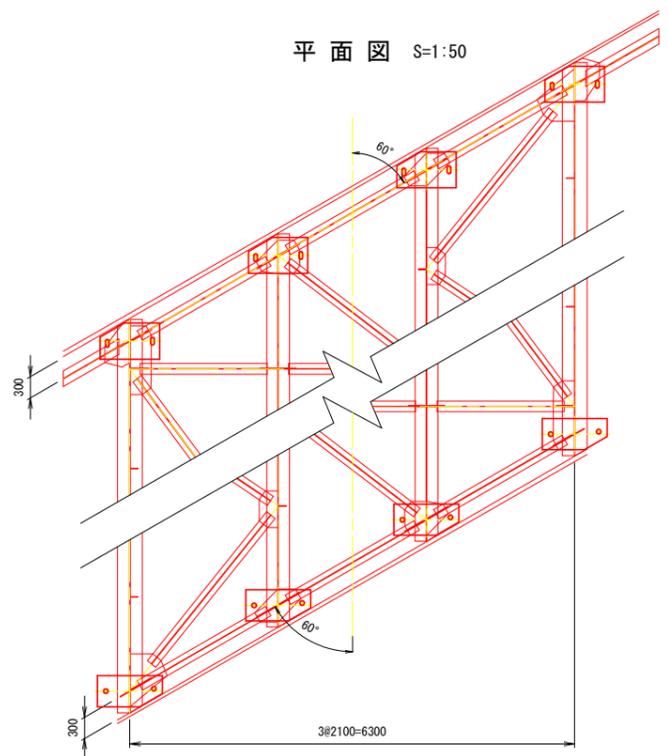
配置図



② ソールプレート (SM490A+SS400)



平面図 S=1:50

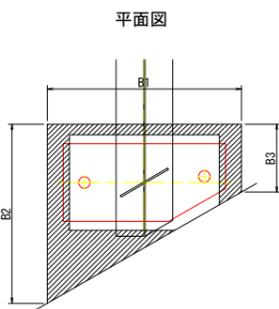
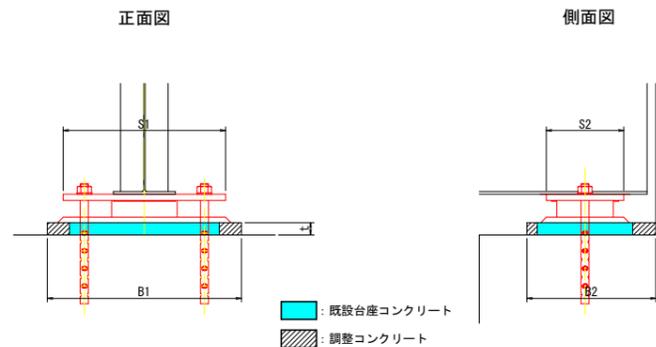


実施設計図面

工事名	R2三土丸亀三好線(小見橋) 東・東山 橋梁修繕工事		
路線名等	主要地方道 丸亀三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町東山(小見橋)		
図面名	小見橋 支承詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(三好庁舎)		

小見橋 台座コンクリート詳細図

A1橋台座コンクリート詳細図 S=1:20

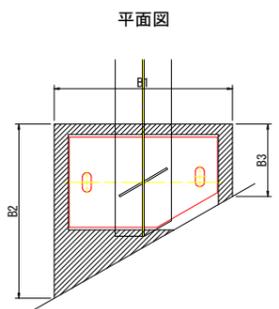
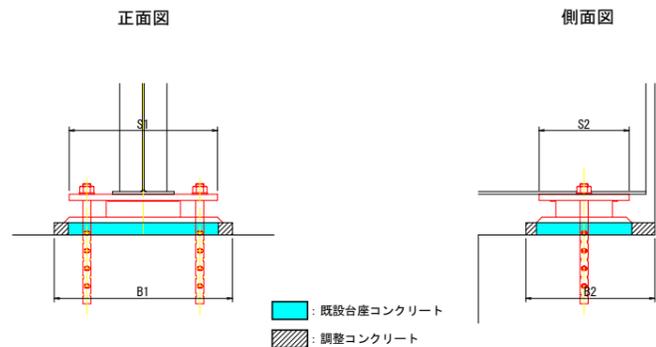


台座コンクリート寸法一覧表

項目	A1橋台(固定側)				
	位置	G1桁	G2桁	G3桁	G4桁
支 承	S1	920	920	920	920
	S2	440	440	440	440
台 座 コ ン	B1	1100	1100	1100	980
	B2	1010	1010	1010	1030
	B3	380	380	380	480
	t	70	70	70	70

注記
1. 番座コンクリートの寸法は、施工時に現地計測を行った後、適宜調整すること。

A2橋台座コンクリート詳細図 S=1:20

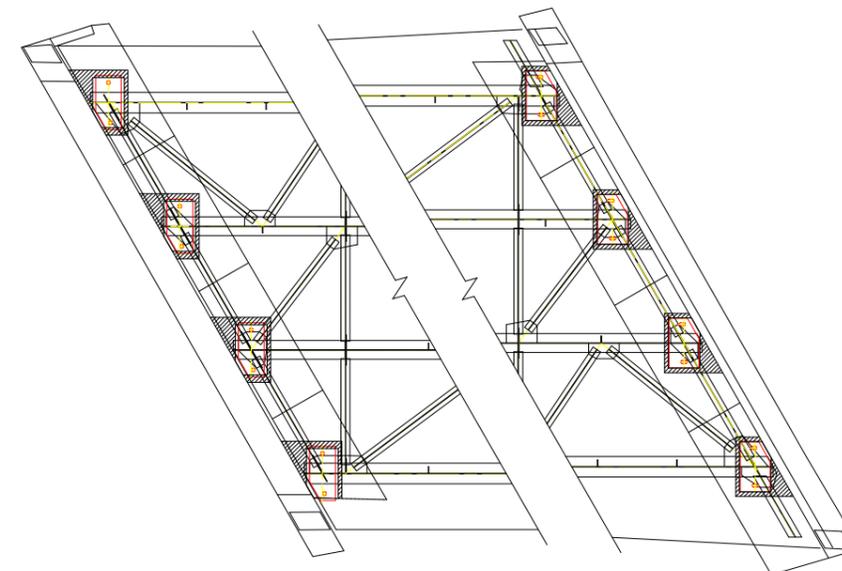


台座コンクリート寸法一覧表

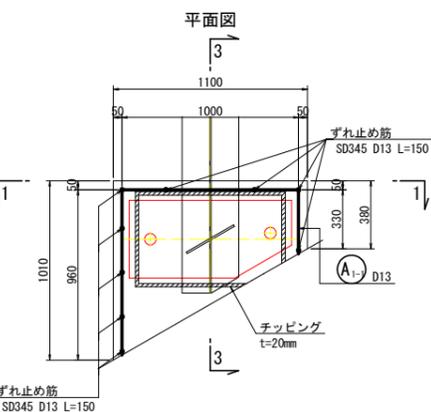
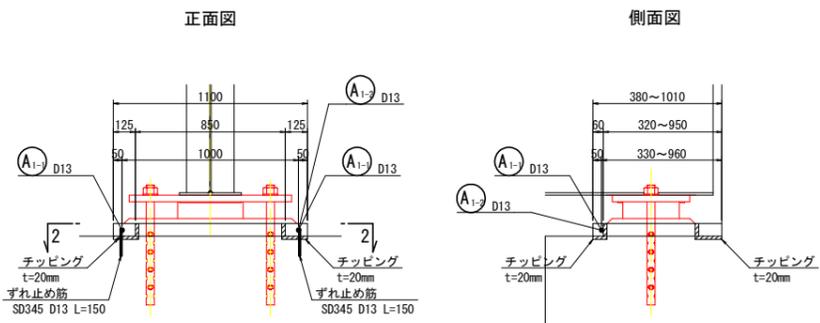
項目	A2橋台(可動側)				
	位置	G1桁	G2桁	G3桁	G4桁
支 承	S1	840	840	840	840
	S2	510	510	510	510
台 座 コ ン	B1	1010	1010	1010	1010
	B2	1000	1000	1000	1000
	B3	420	420	420	420
	t	70	70	70	70

注記
1. 番座コンクリートの寸法は、施工時に現地計測を行った後、適宜調整すること。

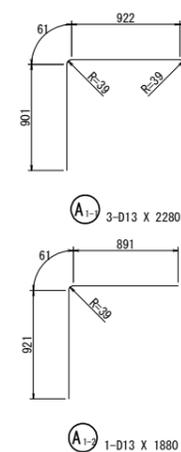
平面図 S=1:60



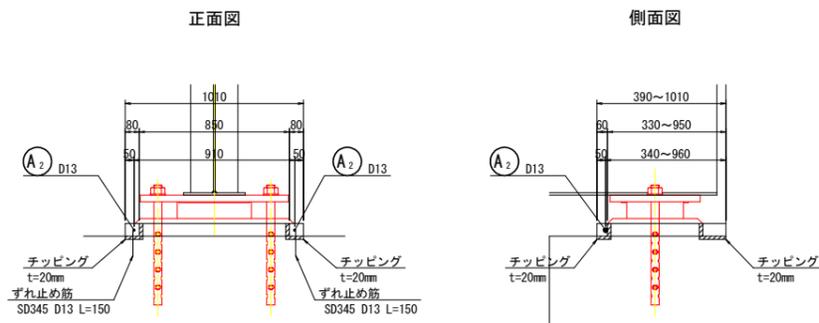
A1橋台座コンクリート要領図 S=1:20



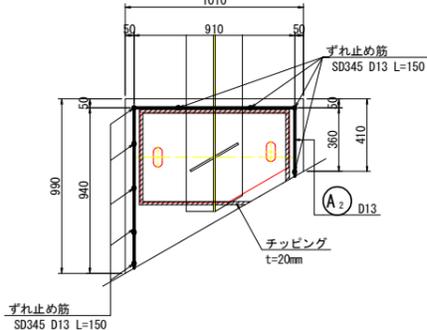
台座コンクリート鉄筋加工図



A1橋台座コンクリート要領図 S=1:20



台座コンクリート鉄筋加工図



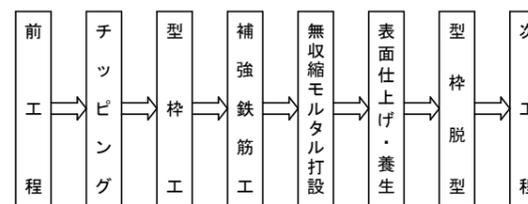
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A1-1	D13	2280	3	0.995	2.27	7	□
A1-2	D13	1880	1	0.995	1.87	2	□
A2	D13	2180	4	0.995	2.17	9	□
							18
合 計 D13					18 kg		
総質量					18 kg		

鉄筋加工表

部材	鉄筋番号	鋼材材質	鉄筋径 (mm)	鉄筋長 (mm)	部材数	鉄筋本数	鉄筋総数	総延長 (mm)	形状番号	曲げ寸法 (mm)		
										a	b	c
A1-1	D13		2280	1	3	3	6840	1	947	1013	377	
A1-2	D13		1880	1	1	1	1880	2	967	937		
A2	D13		2180	1	4	4	8720	1	917	923	397	

概略施工手順



注記
本施工手順は参考のため、工事着手に際しては施工者にて施工要領を検討のこと。

補修工法一覧

工 程	種 別
台座コンクリート工	台座コンクリート(無収縮モルタル)

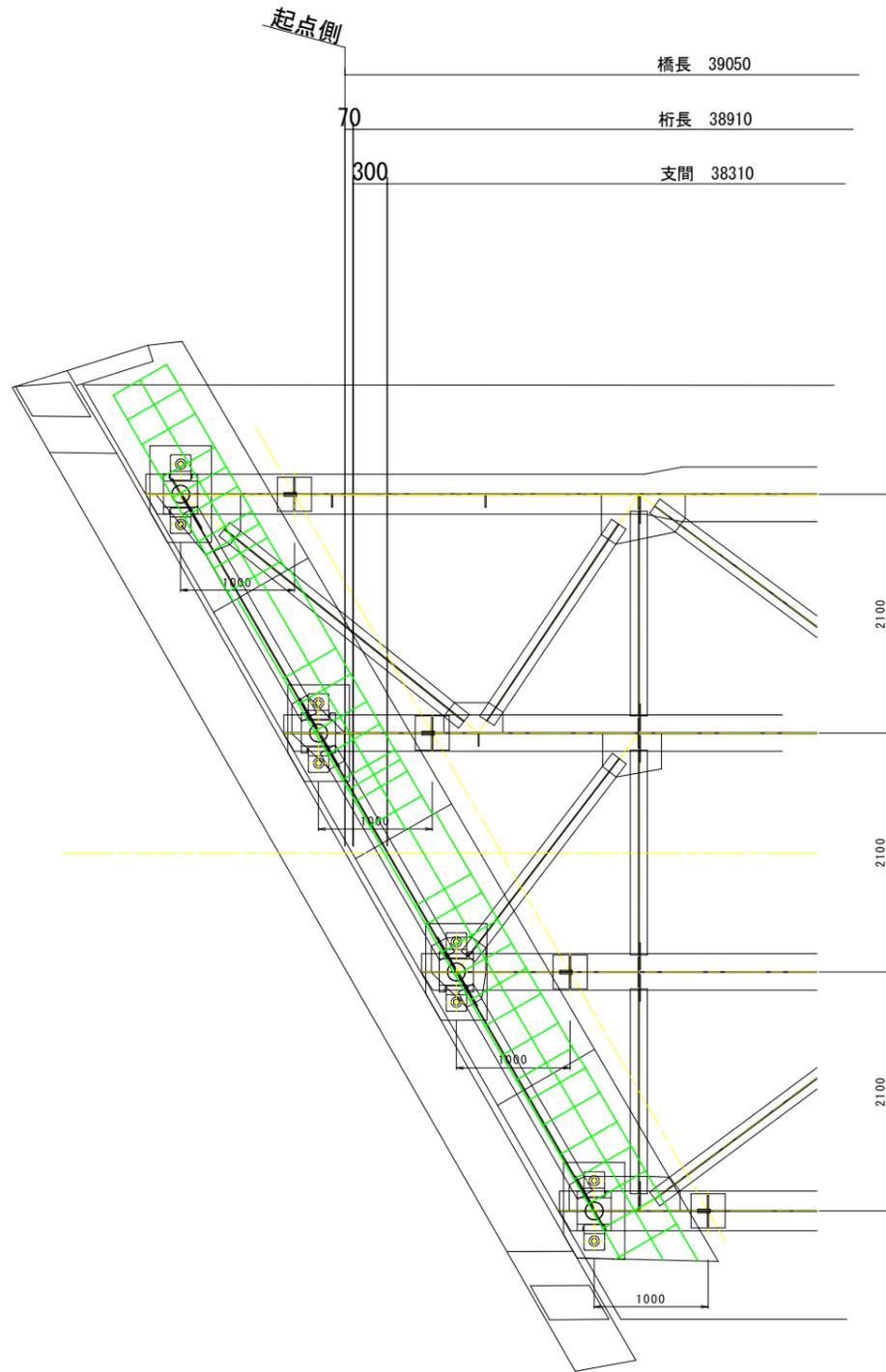
注記
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

実施設計図面

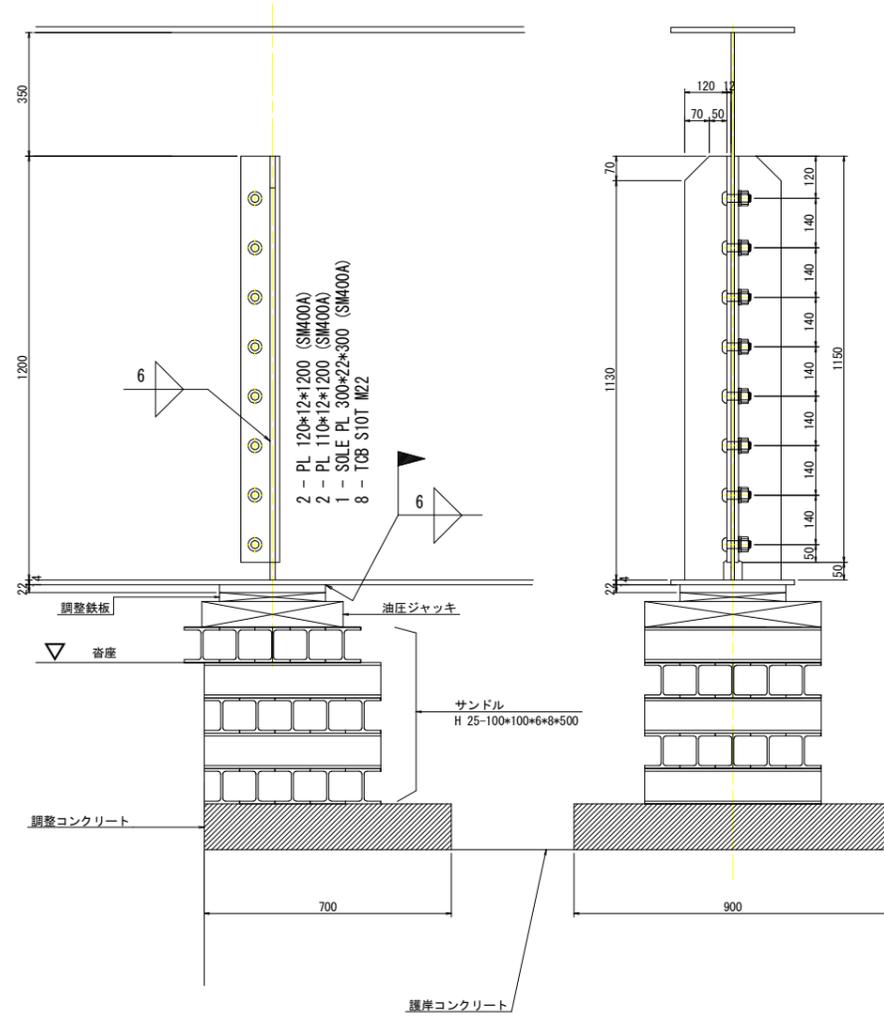
工事名	R2三土 丸亀三好線(小見橋) 東・東山 橋梁修繕工事
路線名等	主要地方道 丸亀三好線
工事箇所	三好郡東みよし町東山(小見橋)
図面名	小見橋 台座コンクリート詳細図
縮 尺	図示 図面番号 3 / 5
会 社 名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(三好庁舎)

小見橋 ジャッキアップ設備及び仮設備

平面図 S=1:30



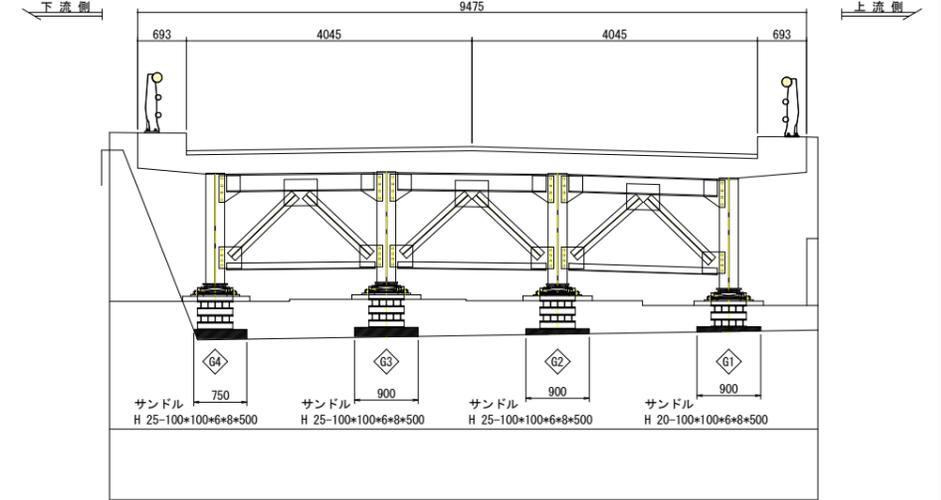
詳細図 S=1:10



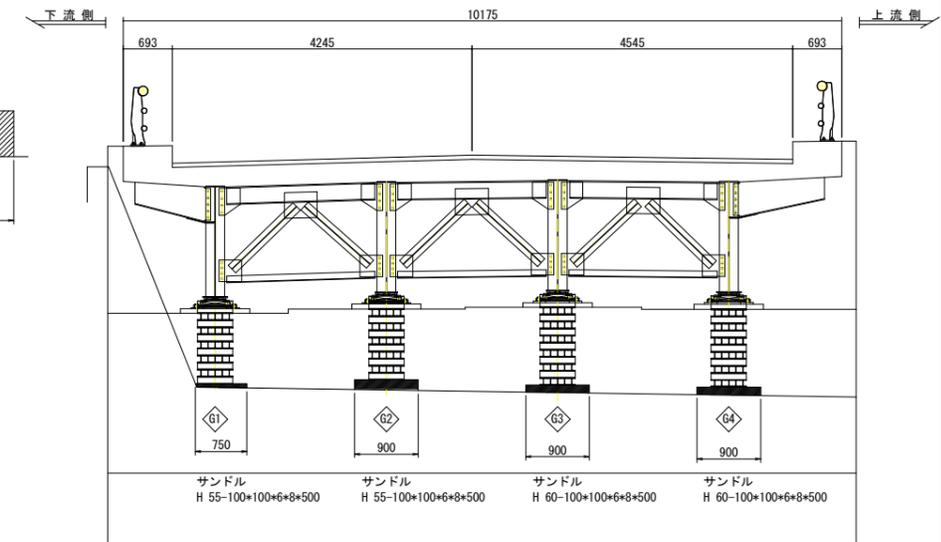
施工手順

1. ジャッキアップ位置にソールプレートを現場溶接、補剛材をボルトで取付ける。
2. サンドルの高さや沓座面が揃うように護岸に調整コンクリートを打設する。
3. サンドルを設置する。
4. ジャッキの高さに合わせて調整鉄板を敷く。
5. ジャッキを設置して荷重支持させるためにジャッキアップを行う。
6. 支承回りの作業を行う。
7. 作業完了後調整鉄板サンドル等を除去する。

A1橋台 正面図 S=1:50



A2橋台 正面図 S=1:50



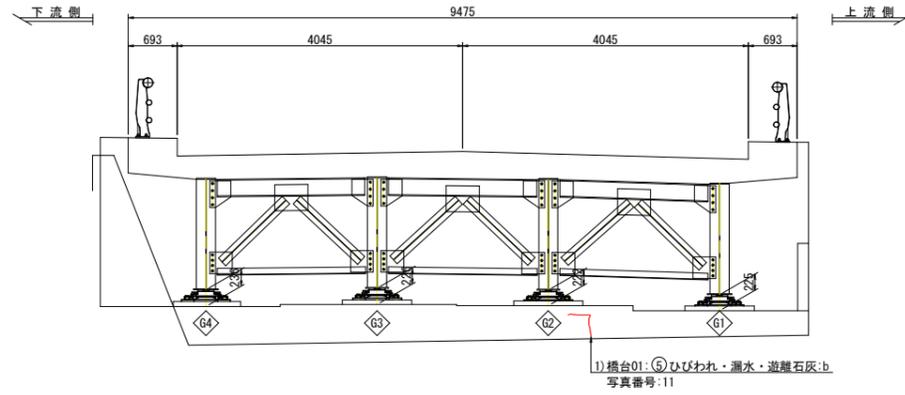
実施設計図面

工事名	R2三土 丸亀三好線(小見橋) 東・東山 橋梁修繕工事		
路線名等	主要地方道 丸亀三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町東山(小見橋)		
図面名	小見橋 ジャッキアップ設備及び仮設備		
縮尺	図示	図面番号	4 / 5
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(三好庁舎)		

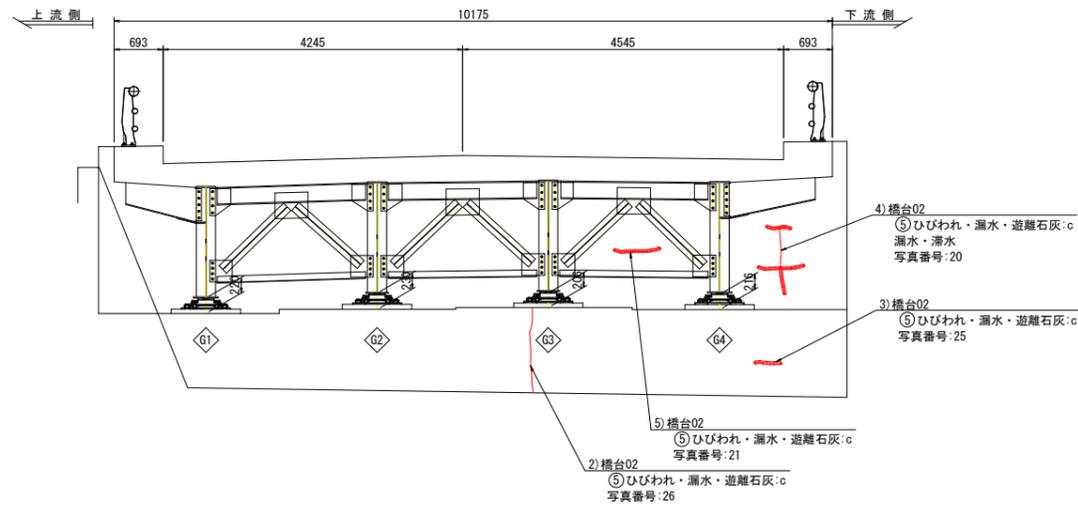
小見橋 下部工補修図

ひび割れ補修工

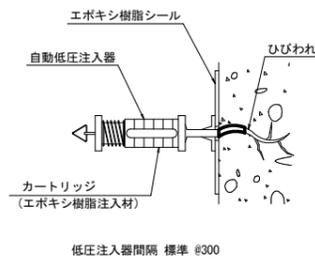
A1橋台 正面図 S=1:50



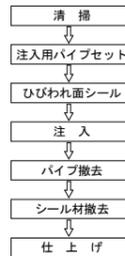
A2橋台 正面図 S=1:50



ひびわれ注入工



施工フロー図



ひびわれ注入工

番号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	数量 (m ³)	備考
1	0.200	0.60	0.100	0.017	
2	0.200	1.20	0.100	0.033	
3	0.200	0.40	0.100	0.011	
4	0.200	2.00	0.100	0.055	
5	0.200	0.40	0.100	0.011	
合計				0.127	

平均ひびわれ注入量 $V = 0.127 / 4.60 = 0.028 \text{ kg/m}$

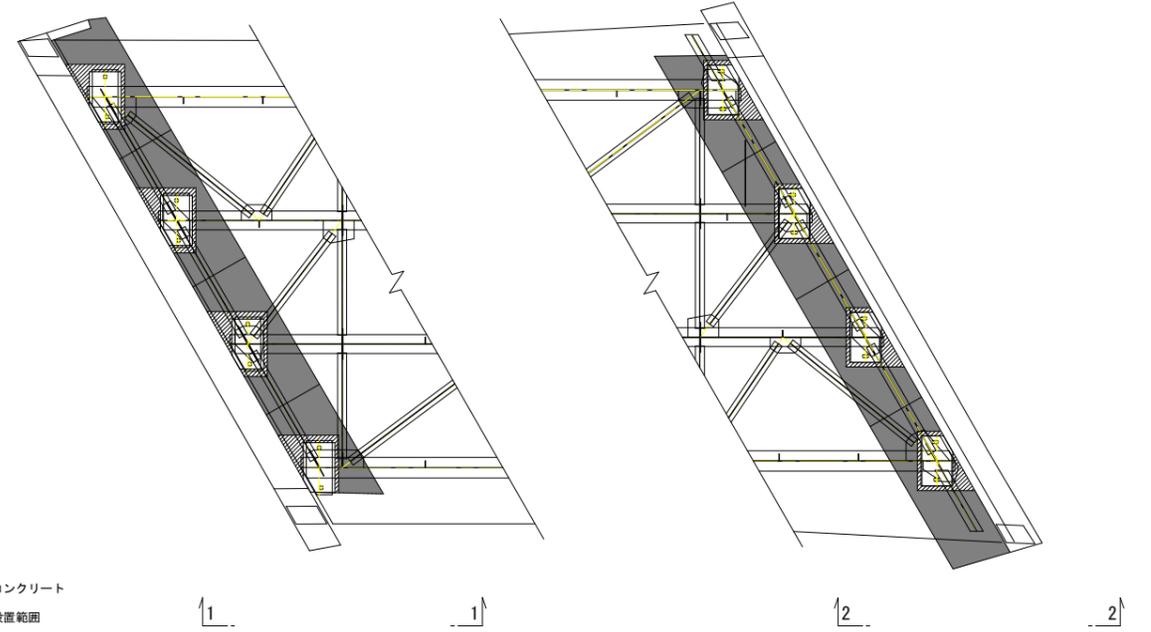
注記
1. 深さは鉄筋位置 (鉄筋探査結果より) までとして設定した。
2. ひびわれ寸法 (幅および長さ) は、遊離石灰除去後に現場実測後決定する。

注入量Vは下式より算出する。
 $V = 12000 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.15$

ここに、
V : 注入量
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
b : ひびわれ幅
h : ひびわれ深さ
L : ひびわれ延長
1.15 : ロス率

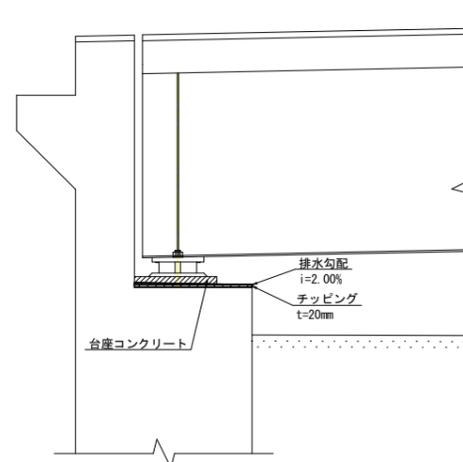
橋座排水勾配設置工

平面図 S=1:60

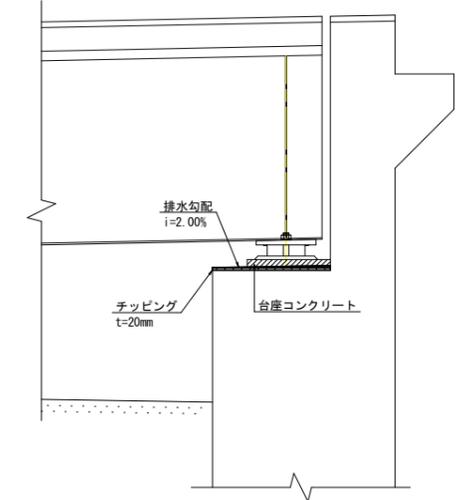


橋台排水勾配詳細図 S=1:30

A1橋台 (1-1)



A2橋台 (2-2)



補修工法一覧

工種	種別
ひびわれ注入工	可とう性エポキシ樹脂注入工
橋座排水勾配設置工	2%排水勾配

注記
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

実施設計図面

工事名	R2三土 丸亀三好線 (小見橋) 東・東山 橋梁修繕工事		
路線名等	主要地方道 丸亀三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町東山 (小見橋)		
図面名	小見橋 下部工補修図		
縮尺	S=1:100	図面番号	5 / 5
会社名			
事業者名	徳島県西部総合農政局 農土整備部 (三好庁舎)		